

マリンストア ニュース

YAMAHA

NO. 2

1977-8-9

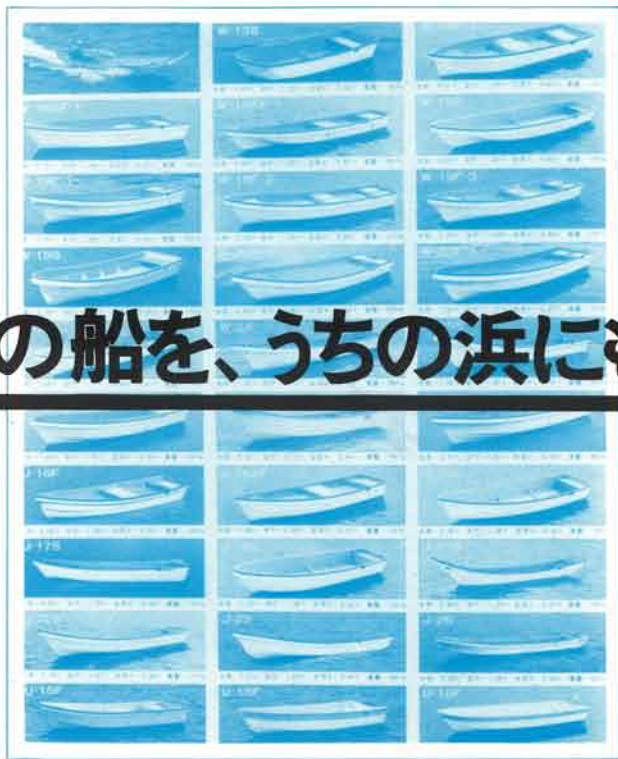
大漁キャンペーン

ヤマハ秋の大漁セール

9月1日～10月31日実施



この船を、うちの浜にも!



お客さまの仕事の能率を高める
新しい艇種(ヤマハ和船)を導入し
商品構成を拡大することは、
お店の信頼度を高め
大きな発展を促します。

すぐれた技術と最新の設備を誇る全国6カ所の工場を拠点に、日本の海を広くカバー、あらゆる漁を知りつくして開発し、設計された「高性能ヤマハ和船」は、現在、26艇種・35パリエーションを数え、全国各域の漁場を舞台に、日夜を分かたず活躍しています。

また、最近の傾向として、多くのマリンスポーツが各種の「ヤマハ和船」を積極的に取上げ、従来市場では見られなかった艇種を導入し、お客さまの漁獲アップに大きく寄与し、ご商売を拡大しているケースが数多くあります。

例えば、四国のノリ船として最初に導入されたW-21Fが三重県の真珠養殖や、東北は宮城県・松島湾のノリ船に活用され、熊本県のノリ船として定評をあつめているW-30F-1が、その大きな積載量をかわれて、運搬を主体とした全国の各種漁業に活躍し、さらには南九州の一本釣り、雑漁船に使用されて好評のW-14F-1が、いまでは岩手県・陸中海岸の磯漁船に使われているなど、新しい

市場、新しい使われ方で成果をあげている...
などがそれです。

このように、多くの用途ですぐれた性能を発揮し、お客さまのシビアなご要望を満足させて好評を博しているのが26艇種・35パリエーションの「ヤマハ和船」です。

あなたの浜ではどの「ヤマハ和船」が活躍しているでしょうか。

「伝統の地元船と型が異なるから」とか「前浜の海況は特別だから新しいフネは合わない」といった観念的な理由のみで、もし「ヤマハ和船」が採用されていないというのであれば、もう一度「ヤマハ和船」のラインナップをご検討ください。

お客さまにすすめて喜ばれる「ヤマハ和船」が必ず見出されるはずですよ。担当のヤマハセールスマン、サービスマンもあなたのご相談をお待ちしています。

お店の商品構成を拡大することは、お店の信頼度を高め、より多くのお客さまの心をとらえることですよ。

〈真夏のレジャー最盛期〉から〈秋の漁業シーズン〉へ

時節に合った販促活動で この夏と秋の需要を “バッチリ”とらえよう



「水のレジャー」には最適なシーズンをむかえ、「バスポート」をはじめとするプレジャーボートで、また「シーバック」「フィッシュャーマン」などの釣りボートや和船で、そして「シーホッパー」などのセイルボートで……お客さんたちは思い思いに77年の夏を堪能されています。

6月に開始され、各地で成果をあげてきた「バックバックセール」、「キャプテンセール」も今月8月が最後のしめくくり。需要創造活動を中心とした積極的な販促活動の展開が一層のぞまれます。

こうした期に、一人でも多くのお客さんと接触し、ボートの正しい扱い方、遊び方を教えたり、お店のクラブ組織を充実させる、また、お客さんの「免許取得」を推進するなどの活動を積極的に行なっていくことが、秋のそして来年のご商売への布石となり、商売繁盛につながります。

一方、業務市場では、夏の終りから秋にかけて、ノリ、ワカメ、カキなどの養殖漁の最盛期。シーズン・インにむかって、意気込みも新たに、強力な販促活動を展開して、新しい市場を開拓し売上増大を実現しましょう。ヤマハでは、今年も「秋の大漁セール」に、盛りだくさんな新企画を折込み、みなさまの拡販作戦のバックアップをしてまいります。

東京、大阪といった大都会、函館や鹿児島に代表される地方主要都市、また三陸や山陰などの漁村……全国それぞれに環境の異なる市場。そうした市場に合わせ、それぞれに工夫をこらしたご商売を展開されているみなさま。今回の「フアイト満々」は、茨城、千葉、三重で、みなさまと同じようにご商売に励んでおられる「マリINSTOA」さんをお訪ねしました。

お店それぞれの市場背景と、それをふまえた「販売活動展開のポイント」をご紹介します。

海の総合フアッシュン店「めざし」

年商7千万

三重県鈴鹿市玉垣町
鈴鹿マリン商会
大河内隆 さん

名古屋から桑名、四日市、鈴鹿、津、松坂そして鳥羽へとつづく伊勢湾西岸は、全国でも有数の「マリンレジャーゾーン」。これらの都市に住む多くの人々を見込んだ「レジャー需要主体の商売」が比較的しやすいところですが、「鈴鹿マリン商会」さんは、このほぼ中央の鈴鹿市にあって「海の総合フアッシュン店」を売りものに多くのお客さんを集め、年商7000万円の売上を誇っています。



商圏内には白子を中心とした「ノリ漁場」もあり、業務需要も見込める恵まれた立地条件です。大河内社長は、開業後数年はこうした業務需要のお客さんの獲得にも力を入れてきました。しかし、その後、大型プレジャーボートの需要が増大、販売効率を考慮した大河内社長はレジャー中心の方向に店の方針を転換しました。「高度経済成長の時代は、たいした販促活動をしなくてもパワーボートが売れましたが、オイルショック以来、需要層も一変し、小型の釣りボートを数多く売る方戸もついでにかざるを得ない状況を迎



えたことは、他のマリINSTOAさんと同じだと思えます。しかし、うちの場合、これがかえって好結果を生んだといえます。

それは、これを機に「堅実な商売」に心がけたことです。その具体策として、思いきって店舗を新築、大型化し、海の遊びに関する用品をすべて取り揃えた「海の総合フアッシュン店」とし、あらゆる年齢層の人々をお客さんにする、といったことを実現させました。



鈴鹿マリン商会さんの主力商品はもちろん、「ヤマハボート、和船、船外機」ですが、店内には海水浴用品をはじめ、釣り用具、ダイビング、サーフィンなど、各種マリンスポーツの用品、そしてフアッシュン用品まで、常時2500万円を越える豊富な商品が取り揃えられています。

「これからのマリINSTOAは、子供を含めた海に関心のある人々を、将来のボートユーザーとして育てていくところ、と

集まっています。

ボートの場合だけに限ってみても、最初は「ただ海を走ってみたい」という気持ちから、ボートを購入する方が少なくありません。しかし、いかに海に魅力があるとはいっても、「走る」だけでは飽きてしまいます。こうした時に、自らの知識と経験を生かし、またつぎの遊びを教え、あげることができればお客さんのお付き合いを長つづきさせられるし、ひいては「ボート遊び」が人々のレジャーとして普及、定着し、真のマリンレジャーの時代となるわけです。

最近「釣り」のためにボートを購入される方が増えていますが、うちには、「ボート釣り」以外の釣りを楽しんでおられる方も多勢いらっしゃいます。磯釣りや、防波堤からの投げ釣をしておられる方々に「ボート釣り」や「トロリーング」の楽しさを理解してもらうためには、まずこうした人々が現在されている釣りについても充分な話相手であればならず、「ボート釣り」に興味を抱かせるためには、「さすがプロ」といわれるだけの経験と知識で納得させていくことが必要です。もちろん、それが出来たからといって、「それではすぐボートを買いたい」というわけにもいきませんが、先を楽しみに、どんなお客さんにも忍耐よく親切に対応していくことが肝心ですね。

こうした大河内社長のことは裏づけするように、店には「三鈴フイッシュングクラブ」、「三重潜水友の会」などのクラブ、そしてサーフィンの同好会もあり、クラブ活動が積極的に展開され、各種講習会



モニター制度と下取りセールで代替需要促進に成功

「下取り」は水郷のプレジャー需要へ

ならわモーターズ

石井定頼 さん

ノリの本場東京湾も、市街化、工業地帯化で狭ばめられつつあり、「ならわモーターズ」さんのある君津郡袖ヶ浦あたりが、まとまった「ノリ漁場」としては最も北側、つまり千葉・東京の都会寄りとなります。

この南、木更津、富津、大佐和、竹岡、そして金谷と「ノリ漁場」は続きますが、残念なことに、ここでも10年前の最盛期にくらべ、「ノリ屋」さんは半減しており、商売がむずかしくなってきたことは否めません。しかし、石井社長は積極的な代替促進策を展開し、昨年も船外機80台、和船30隻の実績をあげています。

代替促進策としてもっとも成功しているのが「下取りセール」です。

「漁家が横ばい、もしくは減少といった中では、どうしても代替を早める必要があり、これには「下取りセール」がもっとも効果的です。しかし、これが高かったり、ましてや、転売先のあてがなければ、思うにまかせません。

幸いなことに、うちのMLさんの中に水郷地区のオートバイ屋さん知り合いの人がおり、その人の仲立ちで、その店から、プレジャーのお客さまへ下取った和船や船外機を転売してもらったことが可能になりました。今では、そうした取り引き先が5店にも増えています。「下取り」のさばき先が見つかりました

も再々開催されています。また、売場面積30坪の店舗の2階は、クラブのみならずがミーティングや、映写会、講習会など自由に使用していただけるように開放されています。

●「鈴鹿マリン商会」さんの免許教室はシーズン中は月2回行なわれる、鈴鹿市の「大和マリナ」と、冬場に「伊勢湾マリナ」で行なわれる「免許教室」にお客さんをご案内しています。

●「バックバックセール」は店頭には常時、「シーバック10」が展示されていますが、6月中旬に「バックバックセール」と「キャブテンセール」を一緒にして「釣りボート」、「セールボート」、「小型ボート」の展示、即売会を実施。新聞の折り込みチラシで宣伝し（宣伝費12万円）土、日の2日間で約100名のお客さまを集め、ボート、船外機合わせて350万円の売上をみるといった盛況ぶりでした。



ので、うちでは、自信をもった価格設定で、下取りをすることができ、これが早目の代替を実現させています。

石井社長が代替需要を促進するもうひとつの方法として実施しているのが「モニター制度」。MLさんや親せきの人々に新しい商品を使ってもらい、商品の告知とデモンストレーションをはかるものですが、これがお客さまの購入意欲を刺激し、代替促進、全体の高馬力化に大きな効果を発揮しています。

ならわモーターズさんの市場は、ほぼ100%「ノリ需要」であるため、需要



期は8月〜12月、中でも11、12月が最需期。ヤマハ船外機の占拠率は80%をこえ、その9割までが25馬力といった市場ですが、石井社長は前述の二つの販促活動の他にも、



茨城県東茨城郡大洗町 藤枝俊夫

フジマリン商会

藤枝俊夫 さん

新しい漁(平貝の桁網)の導入による 市場の変化(高馬力化・二基掛)に 技術力と信用で対応

茨城県下で屈指の漁港として知られている大洗港。「フジマリン商会」さんは、この港から歩いて三分ほどのところ。平貝の桁網の導入で活況を呈する市場だけに、店内には「25B」、「40A」などの大型船外機がとろせましと陳列されています。商圏は大洗町を中心に南北に30キロ、時間にして車でそれぞれ40分。この間の約300名の漁師さんが顧客で業務需要が圧倒的です。

●ノリシーズンになると浜の近くに仮整備場を設営して迅速なサービスにあたる
●シーズンオフにも各浜に顔を出し、漁師さんたちの「たまり場」で一緒に雑談をかわす
●などの活動を通じて堅実に業績を伸ばしています。

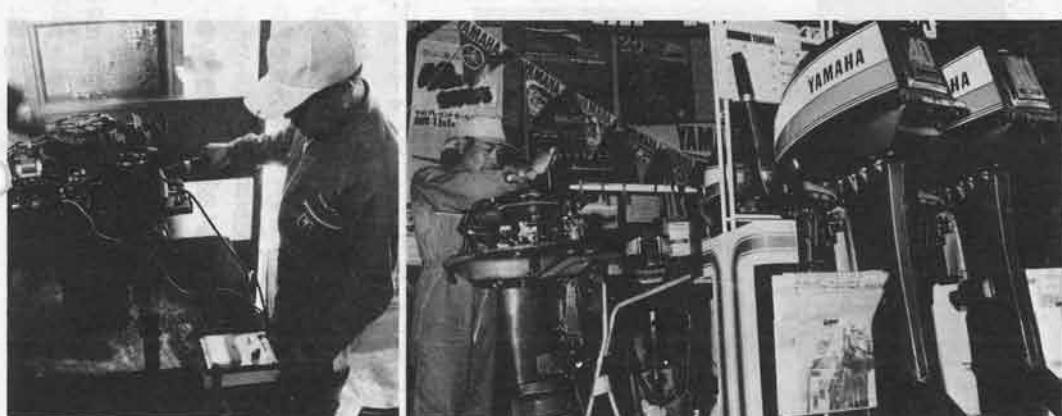
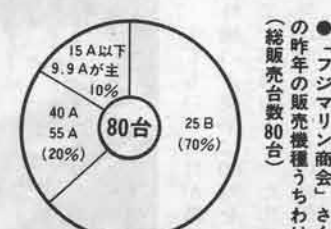
販売、修理と兼業で、従業員は7名を擁していますが、和船、船外機の販売、修理にあたっては石井社長と従業員のうちのひとりだけ。
「二人だけで全売上の四割を稼ぎ出していますが、現在の人員体制でも、やり方次第でまだ販売台数を伸ばすことは可能ですね」と、夏から秋にかけての商戦に対する闘志をのぞかせていました。

このお客さんたちのする「和船・船外機」は別表の通りですが、ここ一、二年、地元大洗町を中心に、平貝(※)の桁網をする人々が急増、従来、「走る」ことを主な目的に使用されていた船外機に「網を曳く力」が要求されるようになり、これにともなって大型化の傾向が著しく、市場に大きな変化が起っています。

「曳き力が必要なため、和船に25馬力、40馬力を二基掛けして曳く人もいます。こうした酷使状態がつづく、いく

●「フジマリン商会」さんのお客さんの漁

漁種	一本釣	刺網	桁網	シジミ採り	サシ遊船
魚種	スズキ	ヒラメ	イシモチ	スズキ	サシ遊船
漁期	7-9月	10-12月	4-5月	7-8月	11-12月
主な使用和船	W-19	W-19	W-23	W-23	W-23
主な使用船外機	25B	25B	25B	25B	25B



らじょうぶな船外機でもかわいそうです。ペラのピッチをさげ、負荷を落してやった方がよいのですが、スピードが出なくなるので喜ばれません。しかし、これからは耐久性の面からも、安全性の面からも適性仕様を指導していくつもりです。」

フジマリン商会さんが、こうした市場変化にいち早く対応することができ新しいお客さんまで獲得、市場をさらに広めている要因は、「私が見れば直らない船外機はない、といわれるぐらいサーピス技術には自信をもっています」という藤枝社長の「優秀な技術力」です。そして10年来、時間と場所を選ばない迅速なサービスを実施してきた「信用」。マリンストアの商売におけるこの二つの基本を着実に実行してきたことが、いま実を結んでいるといえます。

藤枝社長の優秀な技術力を裏付けるかのように、店には常時、100万円をこえる豊富な部品が在庫されており、また、「テストスクリーン」と「水槽」が備えられ、エンジン回転テストを店内で行なえるようになっていました。

※ここ一、二年、東京などの消費地で人気を集めている、アサリとハマグリの子のようなく。値もアサリとハマグリの中。

この秋の商売はこれでいこう

ありがとうプレゼント

●セール期間中にヤマハ和船、船外機をご購入いただいたお客さんには、プレミアムとしてヤマハ特製「磯舟形鉢」を用意いたしました。



ヤマハ秋の大漁セール

9月1日～10月31日

ヤマハ秋の大漁セール
実施中

いつもお世話になります。ヤマハです。



★和船・船外機総合チラシ
(全国用 北海道・東北用の2種)
■36cm×26cm
店頭で、また展示会場でお客さまに手渡し、商談にご利用ください。



★告知ポスター
■103cm×73cm
下の余白部分に自店広告・展示試乗会の開催日時・場所などをきれいに書き込み、店頭・漁協玄関、近所のお店などに掲示して、多くの人々に知らせましょう。

★ハンギングスクリーン
(垂れ幕) ■146cm×52cm
ユボ(合成樹脂)製ですので、店内はもちろん、戸外にも掲示できます。お店や展示・試乗会場の華やかな雰囲気づくりにご利用ください。

「セール」期間中の販促活動推進項目

- ①「展示・試乗会」と「予約セール」の実施
船外機の高馬力化、和船の大型化、漁法の変化に対応し、市場に適した機種・艇種を「デモ艇」に用い、多くのお客さまに商品の良さを知らせましょう。
- ②「安全点検サービス」の実施
代替需要を促進する重要な活動です。とくにノリ市場では、種ツケ作業の開始前に一台のこらず完了させるよう、巡回日程を組んで実施してください。
- ③顧客管理、フォローの徹底
上記の活動や、日常の商売でつかんだ見込客をしつかり整理し、そのお客さまたちに「確実に販売する」という意識をもってその後の接触、接近を積極的に図りましょう。

ツールを有効に使用して「セール」を盛りあげよう

私達はこう展開する



「秋の大漁セール」で年間売上げの半分を確保
兵庫県・東浦(淡路島)
高浜商会 高浜太治さん

うちのお客さんの約6割は、「ノリ」の漁師さん。秋に需要が集中しますので、毎年、ヤマハの秋のキャンペーン期間中は販促活動に頑張ります。この間に年間売上の6割近くを確保しています。

今年も、ヤマハマンとチームを組み、浜々々をまわる「安全点検」をメイン活動にするつもりです。代替期にきている船外機はどれとどれか、また高馬力化を望んでいるお客は誰と誰かが自分の目で確かめられますからね。もちろん、展示試乗会も実施し、お客さまの代替需要をおもいますが、こうした機会にお客さまと多く接触し、サクバラに話しかけることが、実販につながるんです。



「安全点検」はあくまでも入念に
ヤマハ兵庫東灘和船・船外機担当主任
新井 修造

昨年、左舷、右舷どちらからでも使える「刈り取り機」が出まわっており、肩のしつかりした船がもたれています。そこで、今年の「秋の大漁セール」では肩の広い和船W-23BFを、重点商品としてマリンストアさんに、その展示、試乗会の開催をお願いしています。

船外機も従来の25Bから40Aへの代替が積極化されています。40Aへの移行促進に狙いをきかため、一大PR作戦を展開していく方針です。

期間中に実施する「安全点検」はあくまでも入念に行なっていたいです。

「点検サービス」は単にお客さまに対するサービスといった軽い意味合いのものでなく、これによってお客さまの船外機を「快調」に保ち、安心して使用していただくことがお店の「信用」を高め、より商売がしやすくなる。信用をつくりだします。「点検してもらったがどうも調子が悪い」とあとからいわれる「点検クレーム」は決してないようには、この「セール」実施間、つまり8月中の販促活動を通じて、秋の見込数字をある程度、固めてお



盛りあげは和船・船外機運動会
熊本県宇土市(有明海)
坂本マリン 坂本巧さん

ここ一、二年、お客さんたちが「スピード」の出る船をもとめる傾向が強まり、これにともなうエンジンも高馬力化されつつあります。

こうした状況でむかえる「ヤマハ秋の大漁セール」ですが、本番前に、まず安全運転の修得も兼ねた楽しい催し、「和船・船外機運動会」を8月中旬に緑川河口の「天明港」で行なう予定です。夏の終わりに、浜のお祭り」としてこれを定着させたいと意気込んでいるところですが、これで前向きをつけて「大漁セール」を盛りあげようと思っています。



しつかりした計画性をもって
ヤマハ熊本和船・船外機担当
鈴木 実

現在、船の附加価値向上を狙った「ヤマハ和船改装セール」を実施しています。これは、出とも、カンザシ、防舷レールを標準装備したヤマハ和船の「セール」ですが、「秋の大漁セール」でもこれを「目玉」としてお店のシエア拡大をはかっていたいと思っています。

ここ数年、「大漁セール」における「展示試乗会」を積極的に開催し、代替需要をしつかりつかんでいこうとするお店が増えているのはうれしいことで、今度の「秋の大漁セール」でも、できるかぎり協力させていただきます。

ヤマハの「秋の大漁セール」を生かすも殺すも、ご主人さんの意識次第です。この期間中、ただなんとなく「お祭りムード」なんているのはダメですね。しつかりした計画性をもって「これだけはぜひ実行して秋の商売の実績をあげる」といった態度で、このセールにのぞんでもらいたいと思います。

盛況



「バックバックセール」



各地で増加著しい釣り愛好家の方々に、「シーバック」をはじめとするヤマハ小型釣りボートで、手軽で楽しい「ボート釣り」の世界を味わっていたらこうと、水のレジャーシーン開幕と同時に実施された「バックバックセール」。

この「バックバックセール」は全国各地で、予想を上回る反響を呼び、みなさまのまわりの「小型ボート需要層」を大きく開拓し、人気を盛りあげました。

各地から届いた「バックバックセール」の成果報告の中から、今後のみなさまの活動の参考になるいくつかの情報にご紹介しましょう。

▶各地の展示会場には家族連れのお客さまも多く、「ボート釣り」に対する人々の関心の深さを物語っていた

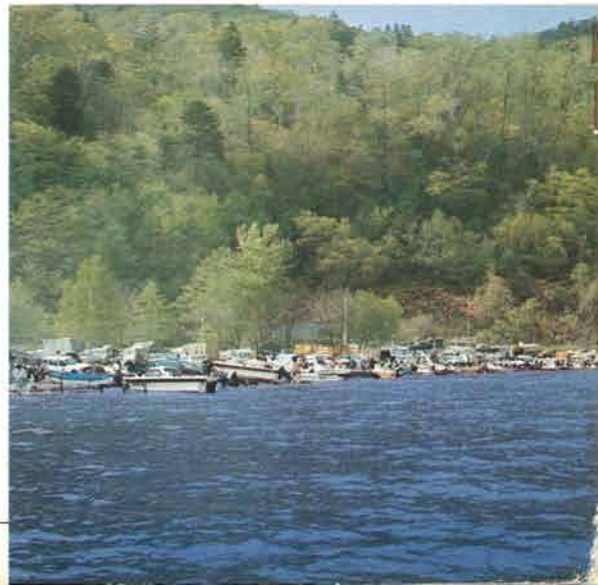
▲支笏湖のチップ（姫マス）釣りは北海道に初夏の訪れを告げる風物詩・湖畔には、「シーバック」、「フィッシュャーマン」、「バスボート」そして「ヤマハ和船」などがずらりと並び、ここでも「ボート釣り」の普及ぶりがうかがえる



▶公園など、人の多く集まる場所での展示会は大きな成果をあげた



▶「最近はおとりバイクのお客さまの中にも、釣りボートが欲しいという人が多いので、今年から「ボート」船外機も扱うつもり。そのデモンストレーションとして行ないました」といったヤマハフレンド店さんも各地に……



人気上々

「シーパック10」

まず、この「セール」のメイン商品であった「シーパック10」の評判については、「車に乗せて、好きな時に好きなところへ手軽に運べる」
「混雑する陸から離れ、爽快なレジャーが楽しめる」

「組立式だから家の物置にも置き保管が簡単」
「価格が手ごろ、クレジットなら頭金4万円、あとは月々4〜5千円で買える」

など、その商品性は、どこでも高く評価され、年代、性別を問わず、多くのお客さまの心をとらえました。

新しく「シーパック10」を購入された人々は、もちろん「釣り」を楽しむため、といった方がほとんどですが、

「釣りだけでなく、海辺の遊び」にも利用できます。従来のゴムボートに代わる手軽で楽しいボートですね」との意見も、家族連れのお客さまたちから聞くことができました。

また、変わった使われ方としては、四国で、毎年のように洪水に悩まされる地区の方たちが、仲間と一緒に「パックセール」展

示会場にあらわれ、「レジャー&洪水対策」

にこれを購入したケースがあり、思いがけぬお客さまの出現に、あるマリンストアさんでは、台風シーズンを前に過去に冠水した地区を調べて「シーパック10」のセールに足を運んで成功した、という例もあります。

「免許」に関する

問い合わせも殺到

「パックパックセール」期間中、お店や展示会場にこられたお客さまたちから「免許に関する質問、問い合わせが多かったことが、今回のセールで特に目立ちました。これは、ボート釣り」に対する人々の関心がいかに高いものであるかを物語るものですが、「免許未取得者」が入門艇として「シーパック10S」を購入し、後ですぐ免許を取得して船外機も購入した、といった例も各地で少なからず見受けられました。

また、この「セール」では「シーパック10」がメインになったとはいえないものの、これが、「ボート釣り」に関心のあるお客さまを、お店や、展示会場に誘う役割を果たし、実際の商談では「W-13S」、「W-14F-1」などの

大成功!

「公園」での展示会

みなさまには、期間中の活動として、店頭での展示を主に行なっていたいただきましたが、スーパーマーケットや公園など、人々が多く集まる場所での「出張展示」を試み、これが効果を奏して大きな成果をあげた。マリンストアさん、全国各地に多くみられます。

夏の訪れを最後にむかえた北海道・厚岸町の「さかのマリン」さんでは、地元の野田公園で行なわれた「ミス厚岸撮影会」にタイミングを合わせ、同公園内で、展示会を開催しました。地元の人々にとってボート展示会は初めて、といったこともあって、当初150名を見込んでいた来場者は300名を越える盛況ぶり。当然のことながら、展示効果は抜群で、「シーパック10S」5隻をはじめ、「シカール」の注文も受けるといった成功をおさめています。

「DM作戦」で

効率よい販売

また、新聞折込みで、「展示会」を告知し、集客するといった方法が多かった中で、一人一人のお客さまに直接訴えかける告知方法、つまり「ダイレクトメール」を直送するといった作戦で、お客さまを確実にとらえたお店も数多くありました。

四国香川県の「香川マリン」さんでは、以前からしっかり管理していた「免許受講者名簿」や「顧客管理カード」をもとに、このお客さまや地元の「釣りクラブ」の会員、そして、お客さまから得た最新の情報を有効に生かして見込み度の高いお客さまたちに「ダイレクトメール」を送りました。

「ヤシママリーナ」を会場に行なわれた「香川マリン」さんの展示会には、新聞折込みでこれを知り、つめかけた人々に混じって、この「ダイレクトメール」が案内となって品定めこられたお客さまが多く、「シーパック10」3隻、「U-15F」2隻、「ポイント8」1隻、「W-14F-1」1隻、「ヤマハ船外機」5台を成約するといったきわめて効率のよい販売を実現しました。

『免許教室』受講生 募集活動を積極的に

すでにご承知の通り、現在はすべてのエンジン付ボートの操縦には「免許」が必要です。そこで、ボート及び船外機の販売にあたっては、まずお客さま方に「免許」の必要性を伝え、「免許」の有無を確かめる必要があります。「未取得」の場合は、取得する方法について十分に親切なアドバイスをしてあげることが大切です。



一人でも多くの人々に免許を取得してもらうことが、これからのご商売の最も大切な原点です。お客さまたちの“ボート”に対する関心が一段と高まる夏、そして秋は、ボート免許の取得をおすすめする絶好のチャンスです。

●小型船舶操縦士免許の種類

免許の種類	総トン数	年齢	航行区域
一級小型船舶操縦士	20トン未満	18才以上	近海区域 または遠洋区域
二級小型船舶操縦士	20トン未満	18才以上	沿海区域
三級小型船舶操縦士	20トン未満	18才以上	平水区域および、 陸岸から5哩以内 の水域
四級小型船舶操縦士	5トン未満	16才以上	湖川及び運輸大臣 が指定する水域
湖川小馬力四級 小型船舶操縦士	5トン未満 (連続最大出力 10馬力未満)	16才以上	

■航行区域（船舶安全法施行規則）
平水区域—湖川及び港内並びに指定水域
近海区域—東経175度、南緯11度、東経94度、
北緯63度に囲まれた水域
沿海区域—各海岸から20哩以内
遠洋区域—すべての水域

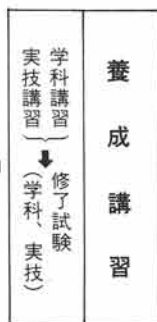
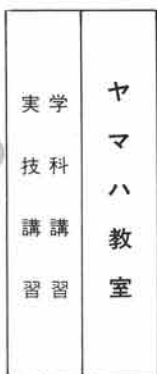
まず、みなさまご自身が「免許」に
明るくなつてください。

お客さんが必要とする免許は、主に「四級小型船舶操縦士免許」と「湖川小馬力四級小型船舶操縦士免許」となりますが、「小型船舶操縦士免許」の種類は上の表の通りです。この機会に
もう一度、ご確認ください。

実績95%合格(全国平均)の
「ヤマハボート免許教室」にお客さまを

お客さんが免許を取得する方法(コース)としては、「国家試験受験コース」と「養成施設コース」の二コースがありますが、「ヤマハボート免許教室」で学科と実技の講習を受け、それから国家試験を受ける、といったコースが一般的です。

受講料	講習時間	最終合格率	国家試験	講師	
				講習出席の義務	資格要件なし
湖川小馬力四級	湖川小馬力四級 学科3時間 実技3時間	ヤマハ全国平均95%	有	無	国家試験受験コース
四級小型船舶	四級小型船舶 学科15時間(3×5日) 実技9時間(3×3日)	ほぼ100%	無	有	養成施設コース
湖川小馬力四級	湖川小馬力四級 学科3時間 実技3時間	25,000円	有	無	養成施設コース
四級小型船舶	四級小型船舶 学科15時間(3×5日) 実技12時間(3×4日)	25,000円	有	有	養成施設コース
湖川小馬力四級	湖川小馬力四級 学科3時間 実技3時間	25,000円	有	無	養成施設コース
四級小型船舶	四級小型船舶 学科15時間(3×5日) 実技9時間(3×3日)	66,000円 (手数料16,000円を含む)	有	有	養成施設コース
湖川小馬力四級	湖川小馬力四級 学科3時間 実技3時間	25,000円	有	無	養成施設コース
四級小型船舶	四級小型船舶 学科15時間(3×5日) 実技12時間(3×4日)	82,900円	有	有	養成施設コース



関係ツールが各種
用意されています。
ご活用ください。

「ヤマハボート免許教室」の日程、場所、料金を記入したポスターを目立つところに掲示するなどして、お客さんにはいつも最新の情報を流してあげましょう。

●募集ポスター



●募集チラシ



●看板



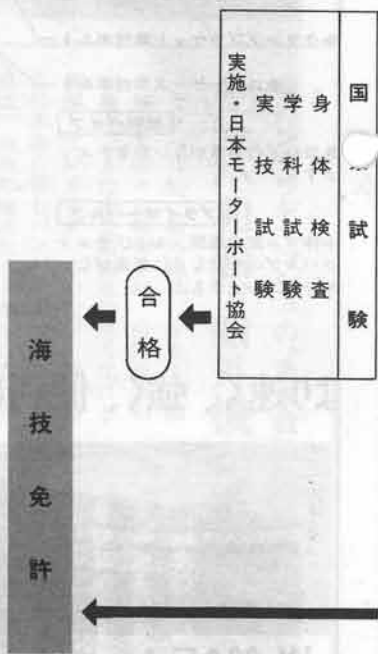
新 潟	長 野	山 梨	群 馬 (栃木)	茨 城	埼 玉	千 葉	神 奈 川	東 京	開 催 場 所	開 催 頻 度										
柏崎	諏訪湖	川口湖	赤城大沼	桐生	伊勢崎	土浦	水戸	大宮	千原	佐原	横須賀	藤沢	川崎	相模原	鶴見	横濱	足立	池袋	新谷	
3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回	2ヶ月に1回

●東京支店管内のヤマハボート免許教室

「今度はいつ、どこで行なわれるのですか」とのお客さんの質問には、即座に答えたいものです。
「ヤマハボート免許教室」の開催日時、場所に関しては、ヤマハセールスマン、もしくはヤマハ各支店の「ボート普及本部」と綿密な連絡をとって、「便利な教室」にお客さんをご案内してあげてください。

お客さまには的確な情報を

ヤマハでは全国各地で、「ヤマハボート免許教室」を数多く開催し、お客さんの「免許取得」のお手伝いをしています。へ左表、東京支店の例参照
みなさんのお店では、「受講生募集活動」を積極的に推進し、この「教室」に多くの方々をご案内ください。



●こんなところが“チェックポイント”●

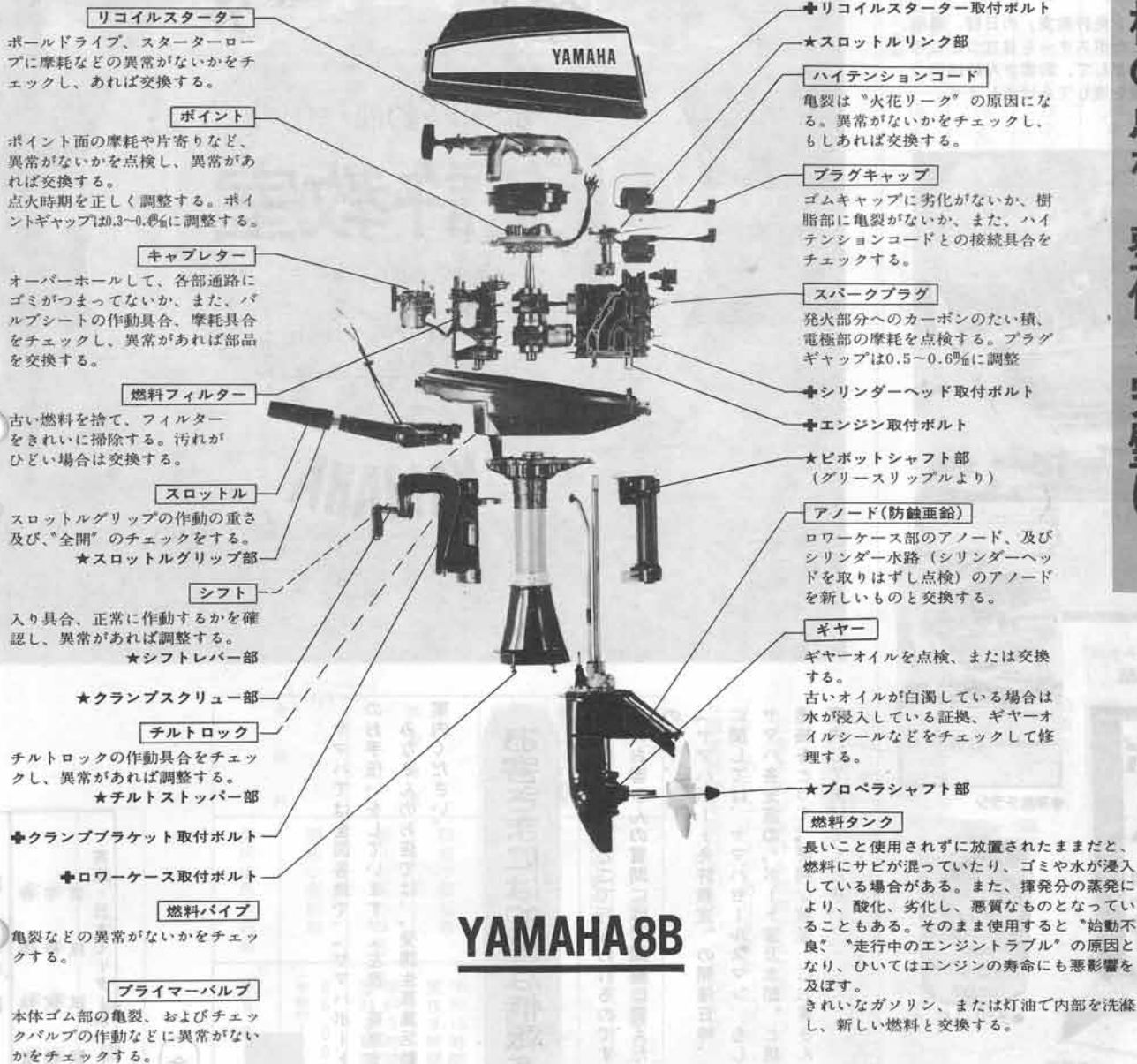
ボルト・ナットの増締

各部ボルト・ナットの増締をする。とくに★印箇所は念入りに

グリースアップ

各回転部、摺動部には“グリースアップ”を。とくに★印箇所は充分に行なう

フル稼動シーズンに備え
船外機の点検、整備を完璧に



YAMAHA 8B

より速く、強く、便利に

ヤマハ和船 3艇種/新発売



W-23AF-1

(W-23F-1の40馬力仕様)

全長(M)	7.06
全幅(M)	1.71
全深さ(M)	0.68
船体重量(kg)	350
最高保証馬力(ps)	40
積載量(kg)	900



W-25AF-2

(W-25AF-1にバウ物入れを設置)

全長(M)	7.60
全幅(M)	1.81
全深さ(M)	0.71
船体重量(kg)	500
最高保証馬力(ps)	55
積載量(kg)	1150



W-30F-2

(W-30F-1にバウ物入れを設置)

全長(M)	8.21
全幅(M)	1.81
全深さ(M)	0.74
船体重量(kg)	575
最高保証馬力(ps)	55
積載量(kg)	1350

ヤマハ

とびつくす



みなさまのお店のまわりの
明るい話題、楽しいニュースを
お知らせください

ご質問やご相談、そして、こんな情報を、
といったご希望もお寄せください。もち
ろん、みなさまからの原稿や写真の投稿
も大歓迎です。

■宛先は
〒438 静岡県磐田市新貝2500
ヤマハ発動機株式会社・P.R課
「マリンスポーツアニュー編集係」

●寒冷地のモニターさんも太鼓判！ 高性能「8B」の一発始動



現在、みなさまの市場で、人気を博しているヤマハ船外機「8B」は、発売以前に、北海道の積丹・函館、岩手県の宮古、宮城県気仙沼、富山県など、各地寒冷地区で、多くのモニターさんに試乗を実施し、「かかりの良さ」「安定した出力」などの高性能ぶりを、実際に繰返し確認してもらいました。モニター役をつとめていただいた漁師さんの一人、函館の杉山徳広さんも「うちの浜は全体にコンブの浜といえますが、わたたくしは立網と磯見（メガネ）漁が主。厳寒の中でなんども繰り返し、テスト使用をしましたが、「8B」のかかりの良さは抜群、いつでも「一パツ」で始動しました。浜の仲間にも「タイコ判」を押してすすめられるすばらしい性能の船外機です」と語っています。



●今年こそスラロームを 浜名湖「水上スキー教室」 大にぎわい

夏をいどるマリンスポーツの中でも、「水上スキー」はひととき華麗で、爽快なものです。

今年で12年目をむかえる「ヤマハ水上スキー教室」は、これまでに4万人にもおよぶ水上スキーヤーを育ててきました。

はじめて「板」をはく人でも一日で2本スキーのスラロームまでのテクニックをマスターすることができ、充実したカリキュラムと、インストラクターの「親切的指導」で好評のこの「教室」が、今年も7月16日から8月23日まで、浜名湖で開催され、連日盛況を博しています。



●バン格拉ディッシュの「洪水救助船」にも ヤマハ和船、船外機が活躍

ヤマハ和船、船外機は、100カ国を越える国々に輸出され、沿岸漁業の振興に、また小型船輸送の動力化にと貢献していますが、このたび、毎年のうに水害に悩むバン格拉ディッシュ政府は、洪水救助活動の一環として、洪水救助船にヤマハ和船、船外機を採用することになりました。

ヤマハでは、この要請にもとづき「W-18」と「ヤマハ15A」、各300台を納入しましたが、その後のアフターサービスとして、政府内にサービス機関を設置・運営するための技術や知識の供与、サービスパーツの標準化に協力しています。



「ヤマハマリーナ浜名湖」新装オープン

楽しく、豊かな 浜名湖の一日を

いまやヨット、ボートの本格的レジャーゾーンとなった静岡県浜名湖。その浜名湖で名実ともに中心となってきた「ヤマハマリーナ浜名湖」が、このたび新装オープンいたしました。

大巾に拡張されたクラブハウスには、デラックスな雰囲気、食事を楽しめるレストラン「マリーナ」、またロビー、オーナードブルーム、ショールーム、大小会議室等を完備、そして美しい芝生の前庭には、25mプールとチビッコ用プールもあり、ボートマン、ヨットマンばかりでなく、家族そろっての楽しい一日が過せます。

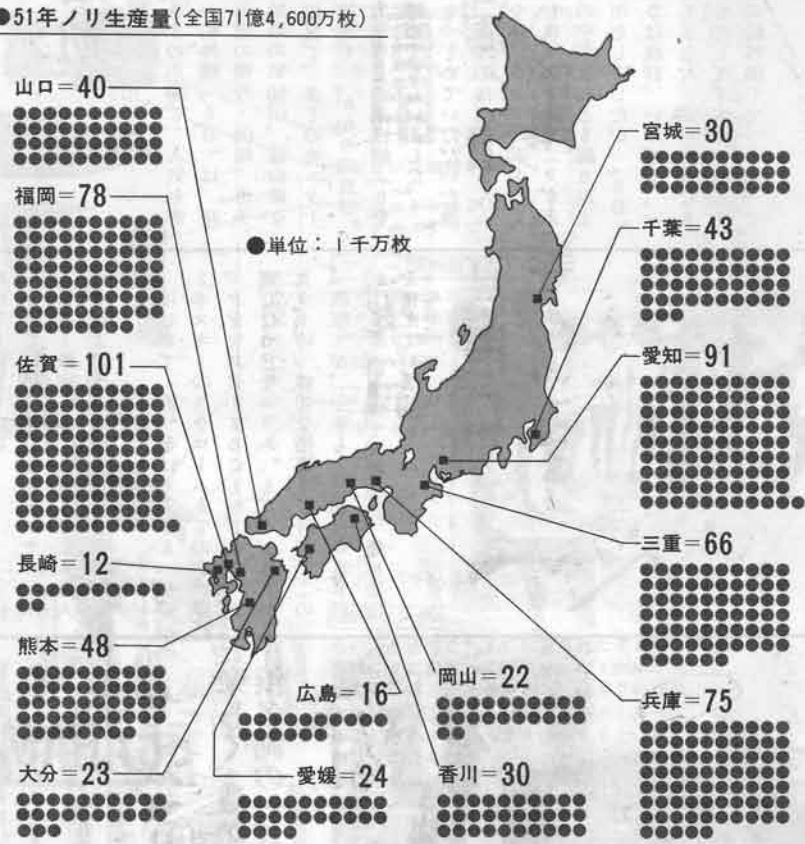
この9月には、ここヤマハマリーナ浜名湖をベースとして「インギョットファン待望の「470級世界選手権」大会も開かれる予定になっており、世界の各地から選ばれた若者たちが集まることになっています。



いよいよ「ノリシーズン」の開幕。みなさまにとって、「ノリ漁家」の方々の好、不漁は、ご商売にも少なからず影響を及ぼすことだけに、今シーズンの豊作とご繁昌を祈る、といった心境でおられることと思います。
 昨年のベスト15県の生産量、平均単価、経営体数をまとめてみました。

- なお、昨年度は……
- ①愛知県・三重県などの東海地区で大巾な生産増がみられたこと
- ②九州、瀬戸内海西部地区では逆に大巾な減産になったこと
- ③価格については有明福岡地区の減産が価格上昇につながり、累計平均価格は50年度のそれを2円70銭上回る14円16銭を示したことが大きな特徴でした。

●51年ノリ生産量(全国71億4,600万枚)



●経営体数(全国51年=33,625 50年=37,507)

県別	51年	50年
宮城	3,040	3,516
千葉	3,079	3,368
愛知	3,197	3,684
三重	4,520	5,289
兵庫	811	854
岡山	475	516
広島	776	973
山口	1,231	1,247
香川	991	1,036
愛媛	1,132	1,333
福岡	4,022	4,179
佐賀	2,562	2,645
長崎	1,095	1,288
熊本	2,269	2,597
大分	1,583	1,712

●単価(全国平均 51年14.2円、50年11.3円)

県名	51年	50年
宮城	10.8	7.9
千葉	15.2	3.2
愛知	13.5	10.9
三重	15.0	12.4
兵庫	16.2	15.1
岡山	12.2	9.9
広島	11.8	9.3
山口	12.5	10.3
香川	12.8	10.8
愛媛	11.0	7.7
福岡	13.0	10.1
佐賀	18.8	14.7
長崎	11.5	8.5
熊本	12.8	9.4
大分	11.4	8.6

お客さまと一緒に
お出かけください



77ヤマハ水上スキー
フェスティバル全国大会開催
●8月27～8月28日 ●ヤマハマリーナ
浜名湖



昨年、第1回として開催された「ヤマハ水上スキーフェスティバル」は、全国の水の上スキーファンの絶賛を浴びました。国内では数少ないピック・コンペティションとあって、北は北海道から南は九州にいたる11カ所の会場で行なわれた地区大会から熱気をはらんだ妙技が披露され、これに参加した人々は500名をこえました。

ダイナミックなスラローム、目を見はるトリック競技などにより、水上スキーの楽しさを広めるこのフェスティバルが今年も浜名湖で開催されます。すでに全国各地で地区予選が行なわれ、みなさまのお客さんもこれに参加されていることでしょう。

晴れの全国大会は8月27～28日。素晴らしい試合ふりと楽しい雰囲気あふれるこの「フェスティバル」にみなさんもお出かけになりませんか。

そして来年は、みなさんのお店のお客さんをチャンピオンに。もちろん、みなさんご自身の参加も大歓迎です。

小型・軽量・高性能で抜群の人気

ロイヤル魚群探知機

大漁 シリーズ

ヤマハクレジットでどうぞ



感度バツグン指向角12°

RF-200R

- 到達距離0-200m・0-100m切換
- 200kHz・12VDC・出力70W
- 1年間保証
- 全国標準現金価格98,000円



大きな指向角35° 長い到達距離

RF-320R

- 到達距離0-320m・0-160m切換
- 75kHz・12VDC・出力80W
- 1年間保証
- 全国標準現金価格128,000円



RF-160R

- 到達距離0-160m
- 200kHz・12VDC・出力60W
- 1年間保証
- 全国標準現金価格89,800円



RF-120A・B

- 到達距離0-120m・0-20m切換 A型
- 到達距離0-120m・0-40m切換 B型
- 200kHz・12VDC・出力40W
- 1年間保証
- 全国標準現金価格48,000円

「魚群探知機」に新しい時代が訪れました

いま全国の沿岸漁業家の間で、また、スポーツフィッシングを楽しむ人々の間で、注目を集めている「小型魚探」——それが「ロイヤル魚群探知機大漁シリーズ」です。

フィッシングボート、大型パワーボート、あるいは20トン未満の漁船まで、各種艇に簡単に取り付けられ、操作も簡単です。

「ヤマハクレジット」で販売していただけます

「ヤマハクレジット」で取り扱えます。お客さまのご予算に応じて「均等払い」「ボーナス併用払い」、どちらでも結構、売りやすさも抜群です。

漁師のみなさんの「漁獲アップ」に、またプレジャーのお客さまの「釣果アップ」そして「安全航行の確保」に、どうぞおすすめください。



●積み降しもシングルハンド

『シーホッパー』に便利な専用ルーフラックができました。

合理的な機能を備えていますから、一人で積みおろしができます。もちろん、ファッションにもうるさい若いお客さんにもビックリのシャレた設計です。

《詳しくはセールスマンにおたずねください》

盛夏

マリINSTアのみなさま

お店のMLさん

お元氣ですか。



MLさんは「みなさまの片腕」

MLさんたちのご協力があるお店は

ご商売を着実に伸ばしています。

あなたのお店のMLさん

活躍ぶりはいかがでしょうか。

52年度第4期(8・9・10月)
ご紹介お礼プレゼント



『情報通』

こんなMLさんに、まさに格好!!

●ご紹介数

1台(隻)……………ポータブルサーチライト(吊りさげバンド収納式)

2~4台(隻)…………ソリッドステート・ラジオ(FM/AM.2バンド)

5~9台(隻)…………ラジオ・カセットレコーダー(FM/AM.拡声器装置付
テープカウンター付)

10台(隻)……………GT500テレビ(3ウェイ電源用)

今期も、MLのみなさんに喜んでいただける豪華商品を、用意いたしました。

●お知らせ●

6月の「マリINSTアニュース」創刊にともない、いままで長期にわたりご愛読いただきました「ヤマハMLニュース」は「ヤマハMLトピックス」と改められ、紹介プレゼントの内容と新商品情報を中心にMLさまにだけ直送させていただくことになりました。(今号に「MLトピックス」の創刊号を同封しました)